

国際月間特別シンポジウム「グローバル化は我々をどこに導くのか—ChatGPT時代を生き残れ！ 国際化に必要な能力は本当に英語なのか？—」を開催

【概要】

2023年10月31日（火）に、脳科学者の茂木健一郎氏、経営者の塩野誠氏、吉田和弘学長による国際月間特別シンポジウム「グローバル化は我々をどこに導くのか—ChatGPT時代を生き残れ！ 国際化に必要な能力は本当に英語なのか？—」を開催しました。会場となった本学講堂では学内外から約280名が、Glocal Lesson*1でのリアルタイム配信では約100名が、約1時間半の鼎談を聴講しました。

本鼎談は、司会のグローバル推進機構松井真弓助教が学生から受けた相談「留学は就職に有利になるの？」から始まり、英語翻訳に生成AIが利用できる時代に、なぜ英語を学ぶのか、留学するののかについて話し合いました。

塩野氏が、英語が公用語ではないフィンランドでの自身の事業実績を例に、「英語でビジネスが完結できることはグローバル社会において前提である」と世界の共通語として英語が使用されている事を解説すると、茂木氏は「世界的な企業のトップは、訛りのある英語を話す」と言い、「きれいな英語」を話すことが重要ではないことを強調しました。

また、本学がインド工科大学グワハティ校やマレーシア国民大学と実施するジョイント・ディグリープログラムを吉田学長が紹介した際には、茂木氏は「多様性の国に行き、世界のトップを生む大学で学ぶことは素晴らしい経験になる」と語り、塩野氏は「エントリーシートにそうしたプログラムを修了した記載があると雇用する側としては会ってみたいと感じるし、実際に会うと他の学生との違いを感じる」と話しました。また驚異的なスピードで発展を続ける生成AIに関しても言及があり、「AIを考えることは人間を考えることである」と塩野氏が述べると、茂木氏が「もっと知識に貪欲になれ！」と立ち上がって聴衆を鼓舞する場面もあり、終始、熱い議論が交わされました。

鼎談の最後には、3者が「これからの国際社会で働くときに役立つスキル」について各自の考えを述べ、学生らにエールを送りました。Glocal Lessonでは、この鼎談の様様をオンデマンド配信しています。



鼎談の様子

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/11/1	中日	AI時代に必要な能力議論 岐阜大 学長と脳科学者・茂木さんら ～ 吉田和弘 学長 ～